

3学年だより

～ 今週の言葉 ～

『 梅一輪 一輪ほどの 暖かさ 』

服部 嵐雪/芭蕉の弟子



令和 3年 1月 22日(金) 発行 第35号

寒さをたくましく生き抜く植物たち

厳しい寒さが続きます。今週は予報にもなかった雪が夜中に降り、翌朝、いわきの交通網は大混乱でした。

「早く暖かくなってほしい!! 雪なんてもう勘弁」と思ったりしますが、先日テレビを見ていたら、猪苗代町の「雪下キャベツ」のことが取り上げられていました。

雪下(ゆきした)キャベツとは、その文字通りに雪の下で栽培するキャベツのことです。なぜ雪の下???と思う人もいるでしょうから、雪下キャベツについて少し紹介します。

11月中旬に収穫できるキャベツをあえて収穫せずに雪の下で眠らせておく理由…それは、雪の中のキャベツは寒さから身を守るためにタンパク質をアミノ酸に変える動きをするそうです。そのことで糖度が増し、えぐみ(苦さ)が抜けて、甘みやうまみがぎゅっと凝縮されたおいしい雪下キャベツができあがります。

猪苗代町では、今年は雪が多く、雪の少なかった昨年と比べて糖度の高いキャベツができあがり、現在はその収穫の最盛期を迎えています。農家の方々がひざの高さまで積もった雪をスコップで掘り起こして、雪下キャベツを一つ一つ丁寧に、それとても愛おしそうに収穫している映像が映し出されたときは、「雪なんてもう勘弁」という自分勝手な考えを恥ずかしく思いました。



寒さに震えているだけでなく、寒さの中でなお自分を豊かに実らせていく植物…考えさせられるものがありますね。

人間に置き換えてみれば、厳しい状況をただ嘆くのではなく、そこでぐっと自分を奮い立たせてこそ実るものがある、ということかもしれません…。

3学期の始業式で、校長先生が「頭の音をとって、1月は行(い)く月、二月は逃(に)げる月、3月は去(さ)る月と言われており、あつという間に過ぎていくものです。」とおっしゃいました。1月も来週末には行ってしまいます。私立高校の入試もほぼ終了しました。県立高校前期選抜の願書も記入しました。音楽室から聞こえてくる3年生を送る歌のメロディは、みなさんの旅立ちの日が近いことを知らせています。時は過ぎていくのみですが、寒さや厳しさをじっと受け止めながら、少しずつ、でも、確実に、毎日動くことで、あなたはきっと成長していきます。

今年の節分は2月2日。あなたが払いたい鬼は何？



♪ 今週の進路情報

○来週は希望のあったご家庭を対象に、三者懇談が実施されます。志望高校の最終決定をすることになりますが、ご家庭でよく話し合っけて懇談に臨まれますよう、よろしくお願いいたします。

細かい点まで気を配る



『 見直してみよう「あなたはどうか?」 』

- ・月曜日の上履き忘れが多いです。忘れ物のないよう前日に確認!!という行動習慣を身に付けよう。
- ・昇降口で登下校の様子を眺めていると、自分の下足入れから手にした靴を、地面や廊下に高い位置から落としている人がたくさんいます。音も立てますし、当然靴も散乱します。入試の緊張状態の中では、普段やっていること=習慣が、つい出てしまうものです。この件に限らず、よい習慣を身に付けましょう。まだ間に合う!!

♪ 来週の予定

25日(月)	3年三者懇談・短縮	15:20 頃下校	28日(木)	3年三者懇談・短縮	15:20 頃下校
26日(火)	3年三者懇談・短縮	15:20 頃下校	29日(金)	3年学力テスト①~⑤	14:50 頃下校
27日(水)	⑥カット	14:30 頃下校	30日(土)	中京高校入試	